



齊藤勝美 彩磁辛夷文壺 平成14年(2002) 29.0×23.0cm 佐野市立吉澤記念美術館寄託

淡い色の探求

春の霞のかかった柔らかな空色を背に、白い辛夷（こぶし）の花が映えます。よく見ると白い花には淡い灰色が施され、花の立体感をよく表しています。

彩磁の理想的な発色を獲得したこの時期の齊藤は、濃密な色彩に挑戦する一方で、このようなごく淡い発色を生かした表現にも取り組んでいます。



齊藤勝美 彩磁辛夷文壺 平成14年(2002) 佐野市立吉澤記念美術館寄託



齊藤勝美 彩磁辛夷文壺 平成14年(2002) 佐野市立吉澤記念美術館寄託